

令和4年11月30日



学校だより 12月号



横浜市立市場小学校 Tel(581)2107 FAX(581)9387

けやき分校 Tel(580)0105 FAX(580)0135

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/ichiba/>

来た時よりも美しく 残すものは感謝のみ

校長 董田 英明

クリスマスの装いをはじめ、花屋の店先に並んだポインセチアの鮮やかな赤い色が目に飛び込んでくる季節となりました。

さて、4年に一度のサッカーワールドカップでは、連日のように熱戦が繰り広げられ、日本チームの大躍進に対しても日本中に歓喜の声が響き渡っています。

11月20日に行われたカタール対エクアドルの開幕戦。試合終了後、スタンドに散乱するペットボトルや食べ物を、青色のごみ袋に黙々と回収していく日本人サポーターの姿があったそうです。この様子を中東のインフルエンサーが動画でSNS（交流サイト）に投稿し、瞬く間に拡散され、インスタグラムでは1万件以上のコメントが寄せられました。また、ドイツから歴史的な勝利を飾った翌日の24日には、大会組織委員会が清掃活動を行った日本人サポーターを表彰し、感謝の気持ちを伝えました。

前回の大会でも日本人による「ごみ拾い」が脚光を浴びており、今や日本の「お家芸」になりつつあるようです。サムライブルーの「青いゴミ袋」は、試合中は膨らませて応援に使われ、試合後はゴミ袋として活用されています。何と効率のよい使い方なのでしょう。この日本人サポーターによる観客席のごみ拾いは、日本がワールドカップに初出場した1998年のフランス大会から行われているそうです。そして、この日本人サポーターのごみ拾いは、各国のサポーターに広がりを見せています。

また、日本代表がワールドカップ1次リーグの初戦で強豪のドイツに逆転で勝利し、引き上げたあとのロッカールームは整理整頓され、タオルなどもきれいに畳まれていました。日本のファンがスタジアムのごみを掃除してくれた一方で、日本代表も歴史的な勝利のあと、ロッカールームをこのような状態にして引き上げていきました。

「来た時よりも美しく」という言葉があります。そして、この言葉には「残すものは感謝のみ」という言葉が続くのだそうです。日本人サポーターがおこなったごみ拾いには、きっと選手たちに「素晴らしい試合を見せてくれて、ありがとう。」、大会関係者に「素晴らしいスタジアムを準備してくれて、ありがとう」という強い感謝の気持ちがあったのだと私は思います。

「たかがごみ拾い。されどごみ拾い」。

最後になりますが、今年も保護者・地域の皆様には、本校教育活動に多大なご支援、ご協力をいただき、職員一同、厚く感謝申し上げます。新しい年が皆様にとって、さらによい年になりますようお祈りいたします。

